

別紙様式 2

市民意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

件名	山陽小野田市公共施設等総合管理計画（案）	
意見募集期間	平成28年12月1日（木）～平成28年12月28日（水）	
公表した資料	・山陽小野田市公共施設等総合管理計画（案）	
意見の件数	2名	14件

意見の概要と市の考え方等

項目	意見の概要	市の考え方又は対応
公共施設等総合管理計画全体を通じて	最初に本計画の目的や、ねらい・位置付けを記載すべきである。「市総合計画」との絡みや、「市公共施設白書」とのつながりを明確にすべきだと考える。	御意見を参考に、背景と目的、位置付けを加えます。また、その中で、「市総合計画」や「市公共施設白書」とのつながりを明確にします。
	文中の図表は全て図〇として表現しているが、表は表として表現したほうが理解しやすい。	御意見を参考に、図と表を分けて表現します。
	本計画は、20年間の大きな方向性（計画）を示したものであるため、本計画の配下に具体的な取組計画（実施計画（年次ごと））が必要である。	本市でも、本計画で定めた方針に基づき、具体的な計画が必要であると考えています。 このことは、43ページにおいて、個別施設ごとの長寿命化計画となる「個別施設計画」の策定についても記載しています。

<p>公共施設の将来見通し(更新費用の推計) (29・30ページ)</p>	<p>更新費用の推計について、「道路・橋りょう」と「下水道」は記載があるが、特別会計であっても、インフラで最も重要な「上水道」についても記載すべきである。</p>	<p>本計画は公営企業に係る施設も対象としていますが、上水道については更新費用の推計方法が異なっており、水道局で策定した「山陽小野田市水道事業のアセットマネジメント(資産管理)について」の中で更新費用について推計したものを記載しているところです。</p>
<p>基本方針 (39ページ)</p>	<p>「次の世代のために、安全な公共施設と健全な財政を残さなければならないという考えを持って、公共施設再編、つまり本市が保有する公共施設を一元的に管理し、中長期的なビジョンを持った上で公共施設のマネジメントに取り組んでいく必要があります。」とあるが、再編と一元管理は別物と考える。また、「マネジメント」の文言があるが、具体的にイメージできる日本語の表現の方がわかり易い。</p>	<p>公共施設の一元的な管理は、公共施設の再編を行うために必要な取組の一つと考えています。また、「マネジメント」については、日本語一言で置き換えるのは困難です。よって意図が明確になるよう、次のように表現を改めます。</p> <p>「次の世代に安全な公共施設と健全な財政を残すためには、本市が保有する公共施設を一元的に管理し、中長期的なビジョンを持った上で公共施設再編に取り組んでいく必要があります。」</p> <p>関連して、41ページの「固定資産台帳を活用した公共施設マネジメントに取り組んでいきます。」は「固定資産台帳を公共施設の管理に関する基礎情報として活用します。」に表現を改めます。</p> <p>また「固定資産台帳の整備を前提とすることによる公共施設等のマネジメントへの活用」は「固定</p>

		<p>資産台帳の整備を前提とすることによる公共施設等の適切な管理及び有効活用」に表現を改めます。</p> <p>さらに、45ページの「『マネジメント』という視点」は「『経営』という視点」に、46ページの「『マネジメント』の視点」は「『経営』の視点」に表現を改めます。</p>
<p>取組のスケジュール (44ページ)</p>	<p>第1期で「個別施設計画策定」とあるが平成37年まで策定しては遅すぎると考える。計画策定は遅くとも4・5年、欲を言えば2・3年とすべきである。</p>	<p>個別施設計画は平成32年度頃までに策定する予定です。そのことは35ページに記載してありますが、図の中にも明記します。</p>
<p>具体的な方針（施設情報の一元管理） (46ページ)</p>	<p>「固定資産台帳の整備を進めており、この面からも施設情報の一元管理が進むものと考えています。」とあるがこの表現は弱い。例えば、「一元管理となります。」などの方が良い。</p>	<p>「一元管理」の具体的な内容と本市の取組の姿勢が明確になるよう、次のように表現を改めます。</p> <p>「これに基づき本市でも固定資産台帳の整備を進めており、公共施設の総量や老朽化の度合い、更新費用の把握が容易になるなど、更なる施設情報の一元管理が可能となります。複式簿記の導入と合わせて、本計画の見直しに有用となるほか、コスト分析による個別施設の再編の検討や、受益者負担割合による施設使用料見直し等に活用できます。」</p>

<p>具体的な方針（総量抑制） （４７ページ）</p>	<p>「現在の公共施設の延床面積を約１２％縮減しなければならない試算となりました。」の表現は、例えば、「現在の公共施設の延床面積を約１２％縮減することになります。」のように、もう少し断定的に表現したほうが良い。</p>	<p>御意見を参考に、次のように表現を改めます。 「試算上は現在の公共施設の延床面積を約１２％縮減することが必要です。」</p>
<p>具体的な方針（総量抑制） （４８ページ）</p>	<p>「現在の公共施設の延床面積を約３７％縮減しなければならない試算となりました。」は、市民により強い意識を持ってもらうために、「現在の公共施設の延床面積を３７％縮減することになります。」の表現の方が良い。</p>	<p>御意見を参考に、次のように表現を改めます。 「試算上は現在の公共施設の延床面積を約３７％縮減することが必要です。」</p>
<p>具体的な方針</p>	<p>使用されていない公共施設の内、使用可能なものを格安の金額で貸し出したらどうか。また、未利用の土地を民間に売却するほか、市が所有権を有したまま、民間に貸し出したらどうか。 また、使用されていない小学校の校舎を工場や研究所、事務所として貸し出したらどうか。</p>	<p>現在利用されていない土地や建物については、適正な価格で積極的に貸付けや売却を行い、自主財源の確保に努めます。そのことは５３ページに記載しております。 学校についても、現在統廃合で使わなくなった校舎はありませんが、空きスペースがある場合は、児童生徒の教育面への影響や学校運営に対する十分な配慮をしながら有効活用します。そのことは７７ページに記載しております。</p>

具体的な方針	使用していない建物を有料老人ホームに改築して市が経営すれば、雇用が生まれるのではないか。	有料老人ホームなどの介護保険施設については、民間事業者による経営を基本としており、市が新たに介護保険施設を経営する考えはありません。
施設ごとの取組の方向性（公営住宅） （74ページ）	公営住宅について、市が建設して保有するだけでなく、代替として民間賃貸住宅に入居してもらい、家賃の一部を補助する制度が考えられないか。	公営住宅の個別施設計画を策定する際の参考にさせていただきます。
まとめ （91ページ）	「上水道」も謳うべきだと考える。	「上水道」についても記載します。
まとめ （92ページ）	「施設ごとの取組の方向性」とあるが「施設ごとの取組計画」の方がわかり易いのではないか。	今後、本計画で定めた方針に基づき、施設ごとの具体的な取組を定める個別施設計画を策定する予定です。よって現段階では「方向性」と表現したいと考えています。

※項目ごとに整理して記載